

報告第4号

山陽小野田市図書館協議会の結果について
標記の会議を開催したので、山陽小野田市図書館協議会規則第5条の規定に
基づき、別紙のとおり報告します。

令和8年3月26日提出

山陽小野田市図書館協議会
会長 香川 真澄

会 議 録

会 議 名	山陽小野田市図書館協議会
開 催 日 時	令和8年2月12日（木）午前10時30分から午前12時まで
開 催 場 所	山陽小野田市立中央図書館2階 第1会議室
出 席 者	山陽小野田市図書館協議会委員 8名 香川真澄委員、金田和博委員、小野雅弘委員、吹上静恵委員、 若山さやか委員、伊藤久美子委員、梅津弘美委員、中村明美委員 事務局 6名 長友教育長、山本社会教育課長 山本図書館長、増富中央副館長、銭谷厚狭副館長、三隅主任
欠 席 者	なし
配 布 資 料	次第、議事資料等
担 当 課	教育委員会 社会教育課 中央・厚狭図書館
会 議 内 容 及 び 結 果	<p>1 開会</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 委員、事務局職員自己紹介</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 令和7年度事業報告について 事務局から令和7年度事業の実施状況、図書館の利用状況等について資料に沿って説明した。 以下、委員からの主な質問及び回答。 委 員：なぜ厚狭図書館の管内で、マタニティ・ブックスタートの交付実績が大きく減少しているのか。 事務局：マタニティ・ブックは母子健康手帳交付時に渡すことが多いが、今年度から厚狭の保健センターでの交付がなくなったため、減少している。</p> <p>(2) 令和8年度重点目標（案）、活動方針（案）について 事務局から資料に沿って説明した。 以下、委員からの主な質問及び回答 委 員：サイエンス・カフェの参加人数を増やすため、どのような方法を考えているか。 事務局：高校生の参加を促していきたい。小・中・高・大連携協定の会議において、教育委員会としても働きかけたい。</p> <p>(3) 意見交換 テーマである「今後の図書館に望むこと」について、委員との意見交換。 委 員：図書館のイベントは充実していると思う。</p>

システム内の本の表示が分類別になっていると、子どもたちにはわかりにくいようだ。小学生向き、中学生向き等の表示があればいいと思う。

委員：魅力の乏しくなった企画については廃止し、新たな企画を始めた方が良くと思う。

ボランティアの方と協力して、学校等において新刊本の紹介を行ってはどうか。

委員：学校等への読み聞かせボランティアのレベルアップを図ってほしい。

事務局：読み聞かせボランティアの方を対象とした講習会を開催する予定。

(4) その他

委員：学生が勉強できる部屋があればいいと思う。

事務局：個室ではないが、勉強できるスペースは備えており、試験シーズンには満席になる。

委員：市内に映画館がないので、映写会の内容を充実してほしい。

事務局：現在、往年の名作や近年話題の映画を上映しており、参加者も多い。上映後に感想を述べ合うお茶会も開催している。

委員：中学校の部活廃止、地域移行に向けて、放課後の図書館利用について今後の協力をお願いしたい。

委員：理科大の学生が図書館まで行く手段が乏しい。

事務局：大学との相互貸借ができるので、活用してほしい。

5 閉会

以上